

## 競技上の注意・連絡事項

- 1 この大会は、2010年度日本陸上競技連盟競技規則並びに大会規定に準じて行いますが、参加者の年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行します。
- 2 各クラブの監督による受付(8:30まで)を招集手続きとします。棄権する選手がいる場合には、受付にて届け出てください。
- 3 各団体の引率者は、競技開始時刻20分前までに選手を競技開始場所に誘導し、集合させてください。リレー競技については、各走者のスタート地点に各団体で行かせてください。
- 4 スパイクシューズは使用可です。ただし、7mm以下の平行ピンまたは、2段平行ピンとします。なお、はだしでの参加は認めません。
- 5 100m及びリレーのスタートは、クラウチングスタートとします。ただし、3年生については、スタンディングスタートとし、スターティングブロックは使用しません。
- 6 セパレートレーンを使用する種目(100m、4×100mリレー)では、必ずプログラム記載通りにレーンを使用してください。
- 7 リレー競走におけるテークオーバーゾーン手前からの助走マーク(10mの補助ゾーン)の使用を認めます。ただしマーカー(テープ)は布ガムテープを使用してください。布ガムテープ以外のマーキングはしないでください。必要団体は受付でも配布します。なお、競技後は、各チームでマーカーテープを外してください。
- 8 リレーのオーダー用紙は、朝の受付時に提出してください。(走順に変更があるなしにかかわらず、必ず提出してください。決勝進出チームについては、変更がある場合のみ競技開始1時間前までに提出してください。)なお、リレー選手の変更は、個人参加選手の中から2名までです。ただし、1人2種目(リレー含む)という大会規定を守ってください。同じ団・クラブチームでもBチーム登録の選手をAチームに移動するなどということはできません。
- 9 80mHのハードルの高さは70cm、幅は120cmです。また、ハードル数9台、スタートから1台目までは13m、インターバル7m、最終ハードルからフィニッシュまでは11m、すべて男女共通です。
- 10 走り幅跳びの試技は3回です。
- 11 走り高跳びの跳び方は、「はさみ跳び」または「またぎ越し」とし、必ず足から着地してください。足以外の着地は認められません。なお、練習は男女とも95cmで行い、競技は100cmから始めます。120cmまでは5cmきざみでバーを上げ、それ以降は3cmきざみとします。
- 12 ジャベリックスローの試技は3回です。器具は、主催者が用意したものを使用してください。
- 13 表彰は、決勝結果の通告後に本部席前で行います。結果放送終了後、本部席の所に集合してください。個人、リレーともに8位まで表彰します。できるだけ本人が来てください。どうしても本人が来られない場合のみ代理の方をだしてください。100m、4×100mリレーについては、決勝時刻が遅いため、全競技終了後に賞状をお渡しします。
- 14 各団体は、帯同審判員を出してください。参加10~20名の団体は1名、20名以上の団体は2名以上です。監察員等の審判をお願いします。(プログラムと昼食は準備します。)帯同審判員の方は、開会式終了後すぐに打合せ・役割分担をしますので、受付場所にご集合ください。
- 15 スタンド下の通路は、スパイクを履いたままでの通行は禁止です。厳守してください。
- 16 観客席(特に走路付近)、野外音楽堂他の公園内での行動は、保護者または指導者できちんとマナーを守るように指導してください。
- 17 指導者及び保護者の方の競技場内での応援、指導は厳に慎んでください。選手に公平な競技を心がけてください。(大会本部横から競技場内へは、応援のために立ち入らないでください。)
- 18 競技場内(バックストレート外側)での練習を認めますが、絶対に競技進行の妨げにならないように、必ず指導者同伴をお願いします。

\*この大会は、山口中央ライオンズクラブのご協力によって、成り立っています。ルールを守り、よい大会にしましょう。